

初春に窓開けて見る山々の 白い綿毛に包まれて

霧の中 浮かんで見える姿 美しい

お正月 羽根つく音に窓の外 振袖揺らし女の子

羽根追いながら遊んでる

千代



年の瀬に 行く都市来る年 深き海

新年は 雪崩と共に やって来た

春の海 散乱の如く 光眩しく

ここまでよくぞ来てくれましたと泣きの神様

大石正文



除夜の鐘 新しい年の厄落とし

富士の山 新しい年の初日の出

愛してる 心のうちは燃えたぎる

前田昌之



面接で 家業は何 カキクケコ? (かぎよう違い)

目覚めれば 朝日と共に 靄の月

しんとして 幅^{はば}広き町の秋の夜の

どうもろこしの焼くる匂いす



リンドウ詠む

リハビリ作品展

令和五年 初空月の号